



アドバイザー 吉川誌志さん
県感染対策協議会会長・小児科医
土佐希望の家 医療福祉センター センター長

「コロナ」の下での教育を考える

未来をひらく教育のつどい ～高校・障害児学校教育研究会～ 多くの参加者を得て充実開催 高退協も実行委員会に参加

報告 高教組教文部長 古畑邦明

10月31日、「コロナ」後の教育をテーマに、「未来をひらく教育のつどい」高校・障害児学校教育研究会主催の「コロナ」後の教育を考える会が、高知県感染対策協議会会長である吉川誌志先生をアドバイザーにパネルディスカッション「コロナ禍で学校教育をどうすすめるか」を実施。午後5時の分科会では、学校現場以外にも県立大田中きよむ先生・教育センターチーフ・予備校講師・子ども食堂等より報告を願った。また高知大・県立大の若い学生さんにも多数参加いただいた。貴重な学習の場となりました。



川村喜美 高退協会長



【全体会】ミニ講演・パネルディスカッション
午前の全体会では、冒頭吉川先生よりミニ講演。新型コロナウイルス感染者数の推移やその特徴、そして防止策等について最新の知見に基づき解

説いただきました。教育活動と感染防止のバランスについての大事な指摘もありました。その後、コーディネーター・谷内康浩さん(伊野簡)、パネラー・井上千夏さん(春野高)、近藤理香さん(中村特支)、岩原啓さん(保護者)、寺尾佳倫さん(高等学校課指導主事)によるパネルディスカッション。

パネラーからは、かつてない事態の下で向き合うこととなった多くの困難や苦悩、そしてそれを乗り越えるためのそれぞれの工夫や努力が語られました。会場からも、参加いただいた様々な立場の方から発言があり、「コロナ」の下での教育について、深く見

【分科会】
午後の4つの分科会では、コロナ後を見据えた学校教育のあり方について、レポート発表と意見交換を行いました。様々な立場の方に多数参加いただいたことで、活気ある分科会となりました。

参加者からは次のような感想が寄せられました。
○保護者の岩原さんの話に共感し涙が出ました。子どもの心に寄り添って声かけをして

いる岩原さんのように、私も子どもに寄り添っていききたい。何年後かに「2020年はコロナで大変だったね」と笑って私も話せる日が来てほしいと思います。不安で辛い日々を送っている人々が、自分の居場所を見つかる日が来ますように。(保護者)

【第1分科会】
「障害児教育と医療」子どもが輝く学校づくり
○吉川先生の講話は、障害理解や教育に関わる人にとって大切なことがぎゅっと詰まっています。いい内容でした。いろんな人が今日の話を共有できたらいいのになと思います。(左上)

【第2分科会】
「コロナ」で広がるつながり、新たな実践の可能性を探る
高知県立大学の田中きよむさんから「貧困の現状」(高知県はホームレスの方は「ゼロ」と報告されているが、実際はどのようなのか)についてお話ししていただいた後、次の取り組みを報告いただきました。

【第3分科会】
高校生の進路保障と大学入試改革とコロナ禍の進学就職活動
○誰が悪いのでもなく、災難のコロナですが、何とか人の輪を作って乗り越えていきたいと思えました。大人は何を助けられるのか、教員は何をしてあげられるのか、ともかく学び続ける力を養っていきたいと思えました。(高校教員)

【第4分科会】
ICT教育の可能性と課題とコロナ後の学校教育をイメージして
○ICT教育の導入は、いいものになることが分かりました。また、私立学校の方がICT教育が進んでいるので、そうした点をもっと共有できればと思った。(高校教員)

【第5分科会】
「コロナ」によりフィジカル・ディスタンスが求められる中で、社会的にどうつながっていくか、またそれをどう教育とつなげていくか、様々なヒントをもらえる機会となりました。

【第6分科会】
「コロナ」の下で大変な生活を送る学生支援の取り組み(子ども食堂)うち、泰泉寺さん+高知大生
①「コロナ」の下で大変な生活を送る学生支援の取り組み(子ども食堂)うち、泰泉寺さん+高知大生
②留学生支援の取り組み(海洋高校・坂下先生)
③子ども食堂の取り組み(県立大生)。

【第7分科会】
「コロナ」の下の教育活動と感染防止のバランスについて
○これからの受験、進路についてとても不安を感じました。高知大一年生の学生さんの話は一人の親としてとても心配で胸が痛くなりました。こんな状況の中、大人たちは何か子ども達のためにできることがあるのではありませんか？一人ならず誰かがそばにいて話を聞ける、話せることは生きて行くこととしてとても大切なことです。早くみんなが繋がる世の中になることを祈ります。(保護者)

【第8分科会】
「コロナ」によりフィジカル・ディスタンスが求められる中で、社会的にどうつながっていくか、またそれをどう教育とつなげていくか、様々なヒントをもらえる機会となりました。

【第9分科会】
「コロナ」の下で大変な生活を送る学生支援の取り組み(子ども食堂)うち、泰泉寺さん+高知大生
①「コロナ」の下で大変な生活を送る学生支援の取り組み(子ども食堂)うち、泰泉寺さん+高知大生
②留学生支援の取り組み(海洋高校・坂下先生)
③子ども食堂の取り組み(県立大生)。

コロナで動きが制限される中、子ども達がキラッと輝く場面を作っている先生方が多くて



【第10分科会】
「コロナ」の下で、貴重な学習の場となりました。参加者からは次のような感想が寄せられました。
○保護者の岩原さんの話に共感し涙が出ました。子どもの心に寄り添って声かけをして

【第11分科会】
「コロナ」の下で、貴重な学習の場となりました。参加者からは次のような感想が寄せられました。
○保護者の岩原さんの話に共感し涙が出ました。子どもの心に寄り添って声かけをして



ICTとは、Information and Communication Technology、つまり「情報通信技術」を意味します。「ICT教育」とは、教育現場で活用される情報通信技術そのものや取り組みの総称です。
・教室のプロジェクトに図表を拡大投影する
・パソコン教室でインターネットを使って調べ学習をする
・電子黒板に計算問題を掲示し書き込みながら解き方を説明する
・生徒がタブレットで作った発表資料を一眼でクラス全員の端末に共有する
などの教育活動があります。